

## 女子の部

### 準決勝戦第1試合

昨年のチャンピオン、初戦をパーフェクトで制し勢いに乗る日本エースサポートAと、ここまで僅差の勝負を勝ち抜いて勝ち上がった仁康会小泉病院Aとの対戦。

先鋒戦。左組み同士。体格で大きく劣る日本エースサポートA武田だが、左組から右の背負投、袖釣込腰を繰り出す。

試合は武田が終始リードし、1分15秒、右小内刈で仁康会小泉病院A野瀬から有効を奪う。その後も優勢に進め、防御の橋本に2分34秒、指導1。日本エースサポートA先取。

中堅戦。左右のケンカ組手。開始早々の26秒、日本エースサポートA石川が左に少し振ってから右大内刈を仕掛け、仁康会小泉病院A蘭田から技ありを奪う。

その後、1分20秒にも同じモーションの大内刈で技あり。合せ技で早々と決勝戦進出を決める。

大将戦。開始間もなく日本エースサポートAの船越が、仁康会小泉病院A杉本を足車で潰し寝技に移行。伏せた杉本を足から返して押し掛かり、37秒に縦四方固で押さえ込む。日本エースサポートA、難なく決勝戦進出。

日本エースサポートA 3 - 0 仁康会小泉病院A

(先鋒) 武田 三友紀 2段	⊖	優勢勝	野瀬 美幸 2段
(中堅) 石川 笑美子 3段		合せ技	蘭田 香織 2段
(大将) 船越 亜美 3段		縦四方固	杉本 智奈美 初段

### 準決勝戦第2試合

有力選手を揃え、昨年から女子の部登場の日本生命が実力を遺憾なく発揮して、無敗で準決勝戦に駒を進め、日本エースサポートBとの決勝戦進出を賭けた一

戦。

日本エースサポートB 0 - 2 日本生命

先鋒戦。共に左組の両者、しっかり組み、背負投、大内刈、袖釣込腰、体落等の攻防を見せる。

後半は日本エースサポートB宮城が優勢に出て技を繰り出すが、決め手に欠け引分ける。

中堅戦。左右のケンカ組手から、両者、体落の応酬。中盤までは盛んに攻防のあった両者だが、中盤を過ぎるあたりから日本エースサポートB西原の動きが止まり、2分11秒に指導1を受ける。

その後は攻撃姿勢を見せた西原だが、袖口を握り続け2分45秒に指導2を受ける。そして2分55秒、日本生命高部が組み際の低い体落に入ると、西原は横ばいに伏せ、高部がそのまま引き付け袈裟固で押え込む。3分19秒25秒経過のブザーが響き、日本生命が均衡を破る。

大将戦。体格で勝る日本生命児山が右組からがっちり組み止めると、日本エースサポートB市村は防御姿勢となり、28秒指導1を受ける。

その後も児山は十分な右組から市村を圧倒し、1分丁度に内股で有効を奪う。そのまま寝技で攻め、1分8秒横四方固に押え込む。日本生命が初の決勝戦進出を果たす。

(先鋒)宮城 孝乃 2段	引分	松本 明子 2段
(中堅)西原 沙紀 2段	袈裟固	高部 由美 3段
(大将)市村 圭奈子 2段	横四方固	児山 沙月 2段

## 決勝戦

ここまで全試合一本勝のパーフェクトで決勝戦進出、往年のミキハウス以来の連覇を目指す日本エースサポートAと初戦から準決勝戦までの3試合負けなし、こちらも順当に勝ち上がり、出場2年目で初優勝を狙う日本生命との決勝戦。

先鋒戦。日本エースサポートAの武田が序盤から攻勢に出る。序盤から中盤で

の武田得意の左組からの右小内刈を、日本生命中澤は二度ともよく体を捻って逃れるが、2分15秒武田の狙いすました右袖釣込腰に中澤が転がり技あり。その後も武田が右小内刈、右袖釣込腰、右背負投で前後に揺さぶって中澤を翻弄するが中澤もよくしのぎブザー。日本エースサポートA先制。

中堅戦。左右のケンカ組手、試合は組手争いから日本エースサポートA石川が右からの攻めでやや優勢に進めるが、共に見るべき技無く2分28秒に両者指導1。

その後、石川の攻勢に日本生命高部の守勢が続き、3分15秒に指導2が与えられる。このまま時間となり、日本エースサポートAの二連覇成る。

大将戦。日本生命児山は盛んに右大外刈を仕掛けるが、体重の重い日本エースサポートA船越は動じず。

2分20秒両者指導1の後、船越は右組から支釣込足気味に児山を右に振って捻り潰し、伏せた児山に押し掛かり、3分8秒横四方固でがっちり押え込む。

日本エースサポートA 3 - 0 日本生命

(先鋒) 武田 三友紀 2段	⊖	優勢勝	中澤 千里 2段
(中堅) 石川 笑美子 3段	⊖	(指導2)	高部 由美 3段
(大将) 船越 亜美 3段		縦四方固	児山 沙月 2段